平成24年9月14日

各 位

上場会社名　株式会社アバールデータ
代表者　代表取締役社長 嶋村 清
（コード番号　6918）
問合せ先責任者　管理本部部長 大関 拓夫
（TEL　042-732-1000）

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年５月11日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,100	225	240	150	24.94
今回修正予想(B)	2,730	110	135	65	10.81
増減額(B-A)	△370	△115	△105	△85	
増減率(%)	△11.9	△51.1	△43.8	△56.7	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成24年3月期第2四半期)	3,351	271	307	232	39.02

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,550	550	580	365	60.70
今回修正予想(B)	5,560	220	250	140	23.28
増減額(B-A)	△990	△330	△330	△225	
増減率(%)	△15.1	△60.0	△56.9	△61.6	
(ご参考)前期実績(平成24年3月期)	6,547	527	583	407	68.10

平成25年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,150	200	230	145	24.26
今回修正予想(B)	1,730	50	85	50	8.31
増減額(B-A)	△420	△150	△145	△95	
増減率(%)	△19.5	△75.0	△63.0	△65.5	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成24年3月期第2四半期)	2,428	288	336	252	42.39

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,500	470	515	330	55.21
今回修正予想(B)	3,570	135	185	110	18.29
増減額(B-A)	△930	△335	△330	△220	
増減率(%)	△20.7	△71.3	△64.1	△66.7	
(ご参考)前期実績(平成24年3月期)	4,548	432	499	374	62.62

（注）業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は

今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

修正の理由

(1)連結

当第2四半期累計期間につきましては、世界経済の低迷を背景に設備投資の抑制が継続し、液晶及び半導体製造装置関連市場における需要の減少により、当初の予想より更に厳しい状況が続いております。このため平成24年5月11日に発表しました売上高の予想数値を下回る見込みとなりました。また営業利益、経常利益及び純利益は、人件費をはじめとしたコスト削減を推進してまいりましたが、減収による売上総利益の低下によりそれぞれの予想数値を下回る見込みとなりました。

通期につきましても半導体製造装置関連市場の需要の回復については、先行き不透明な状況にあります。このような環境のなかで当社グループは、自社製品の拡販による売上総利益の向上と販売管理費の削減に努めてまいりますが、当第2四半期累計期間の状況も勘案し、上記のとおり業績予想を修正いたします。

(2)個別

連結における修正理由同様、個別においても前回の業績予想を修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年5月11日発表)	―	8.00	―	10.00	18.00
今回修正予想	―	5.00	―	5.00	10.00
当期実績	―	―	―		
前期実績 (平成24年3月期)	―	11.00	―	10.00	21.00

修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策の一つと考え、安定的な配当にも考慮しつつ、各期の連結業績に応じた利益の配分を基本方針としております。そして将来の企業価値向上に向けた事業投資に伴う中長期的な資金需要や財務状況の見通しなどを総合的に勘案し、連結配当性向を30%を基本に株主の皆様への成果配分を行ってまいりました。

このような方針のもと、第2四半期末及び期末の配当予想につきましては、既述の業績予想の修正並びに株主の皆様への利益の配分の基本方針を考慮し、上記のとおり修正いたします。

以 上